

議会だより

【今月の表紙】はたらく人シリーズ③

とば ひろのり
農業研修生 鳥羽 宏昇さん

合同会社太兵衛(農業法人)で働いています。
(インタビュー記事2ページ参照)



町民の声が議会を動かす	2
町の話	3
9月定例会 令和3年度 一般会計補正予算概要	4~5
令和2年度 歳入歳出決算概要	6~7
常任委員会の動き	8

議案・採決一覧	9
賛否が分かれた議案・討論	10
一般質問	11~15
美浜中学校 体育祭	16
編集後記	16

町民の声が議会を動かす!



地元の若者が、公務員から農業法人に転職してがんばっています。その思いを聞きました。



とば ひろのり
農業研修生 鳥羽 宏昇さん (34歳)

公務員から農業へ 転職のきっかけは?

【鳥羽さん】前職の時、農業や飲食経営者との繋がりができました。経営者の話を聞く中で、農業や外食産業の魅力に引き込まれていきました。

不安はありましたか?

【鳥羽さん】もちろん不安はありますが、自分の可能性を広げたい、チャレンジしたいという気持ちの方が勝りました。家族の励ましが大きな後押しになりました。

また、生まれ育った新庄の田園風景が大好きで、これから先も耕作放棄地を解消し、昔見た景色を守りたいです。

農業の展望は?

【鳥羽さん】若い人が地元で農業を続けられる環境をつくりたいです。経営放棄地は増えていく傾向にあります。農業法人とすれば、耕作面積を増やすことで雇用を拡大していけるので、十分な収入とやりがいのある仕事を生み出すことができれば、若者の雇用拡大と担い手不足の解消に繋がると考えています。

趣味は?

【鳥羽さん】本気でプロ野球選手をめざしていました。昨年、美

浜町で草野球チームを発足し、日本一をめざしています。

合同会社太兵衛の 仲島保俊さんと出会って

【鳥羽さん】安心安全な米づくりへの生産者のプライドを実感しています。限りなく無農薬に近い極限まで農薬を抑えた農法、ブランドへのこだわり、経営戦略など、仕事をする姿を見て学んでいます。

【議会の課題】地元農家との結びつきを強め、地元の要求を政策実現できないか。



町の話題



議会が視察・調査した内容をお知らせします。



グラウンド・ゴルフ場 整備の進捗状況

令和4年4月のオープンをめざして、グラウンド・ゴルフ場の整備が進んでいます。景観が良い場所で、緑の芝も綺麗です。町民の健康増進に寄与し、利便性の高い施設になるよう注視しています。

旧レークセンター 切離解体工事

アスベストなどの飛散を心配していましたが、飛散防止対策などを行い、工事は順調に進んでいます。

切離解体工事の完了後は、新美浜町レークセンター(仮称)建築工事が始まります。ひきつづき、近隣住民への丁寧な対応を求めます。



送電線・鉄塔 基礎工事を視察

関電送配電(株)の送電線・鉄塔基礎工事の現場(新庄区)を視察するために、登山して現場に向かいました。議会は、景観の保全や安全対策について監視の目を向けています。

「道の駅」建設予定地の 現状と観光農園(奥)

令和4年度中の開業をめざして「道の駅」の建設が進んでいます。また、観光農園は今年12月中の開業に向けて整備が進んでいます。町民の期待に沿える施設になるよう注視しています。



充 事 業 特 集

地域支え合い体制づくり事業

民生費
375万円

高齢者や障がい者など、自力で避難することが難しい人（要支援者）の個別の避難計画を作成します。地域の支援者などと情報共有・連携し、災害が起きたときの避難支援の準備を進めるためのシステム導入などにかかる経費です。



美浜駅改修事業

商工費 2,452万円



町のにぎわいを創出する空間「にぎわいゾーン」の整備の一環として、「にぎわいゾーン」の起点となる美浜駅の外装塗装などのリフレッシュ工事費です。



9月定例会

新

規

●

拡

令和3年度
一般会計補正予算(主要事業)

**9月補正予算額
6億4,398万円**

審議 8ページ参照



乗ろうよ! 小浜線利用促進事業

総務費 204万円

JR小浜線の利用を促進するため、JR小浜線を利用すると家から駅までのコミュニティバスの利用料金やJR運賃、今年オープン予定の観光農園の入場料金が割引になるなど、お得なクーポン券を発行する経費です。



町道駅前線 道路改良事業


土木費 6,090万円

JR美浜駅から「生涯学習センターなびあす」までの「にぎわいゾーン」の町道駅前郷市線の道路改良工事や、街歩きを楽しめるように歩道部分に街路灯やフットライトを設置するための工事費です。




実施した仕事の成果!!


令和2年度においては、新型コロナウイルス対策など、町民のみなさんの生活や福祉の向上のためにさまざまな施策を実行しています。それに伴い支出した金額は、一般会計で106億4,518万円となります。使われたお金がどのような成果を上げているのかを主要な事業を選定して記載しました。




教育費
歳出総額 9億6,428万円
構成比 9.1%
(主な事業) GIGA クール整備事業
7,992万円
町内小中学校において1人1台の学習用端末などを整備しました。



農林水産業費
歳出総額 7億7,384万円
構成比 7.3%
(主な事業) 農業人材育成拠点整備事業
1億9,255万円
新規就農者の確保・育成する施設を整備しました。



消防費
歳出総額 7億4,614万円
構成比 7.0%
(主な事業) 要配慮者屋等内退避施設
整備事業 2億9,223万円
美浜中央小学校に放射線防護対策を実施しました。



公債費
歳出総額 4億690万円
構成比 3.8%
○令和2年度中の債務返済額
(元金) 3億7,923万円
(利子など) 2,767万円



商工費
歳出総額 3億2,489万円
構成比 3.1%
(主な事業) 三方五湖ゾーン
整備事業1億651万円
電池推進実証船の建造、実証実験などを実施しました。



議会費
歳出総額 9,170万円
構成比 0.9%
議会だよりの発行などの議会運営、議員報酬、職員給料などに使用しました。



労働費
歳出総額 3,557万円
構成比 0.3%
(主な事業) シルバー人材
センター運営費補助金
784万円

町の財政状況は健全です

美浜町の財政が健全であるのかを4つの財政指標で判断しました。

①実質赤字比率

(普通会計の赤字比率で、早期健全化基準は11.25～15%以上、財政再生基準は20%以上。) 令和2年度の赤字はありませんでした。

②連結実質赤字比率

(普通会計に病院や下水道など公営事業会計を合わせた連結の赤字比率で、早期健全化基準は16.25～20%以上、財政再生基準は30%以上。) 令和2年度の赤字はありませんでした。

③実質公債費比率

(普通会計、公営事業会計に一部事務組合などを合わせた単年度の借金返済額が財政規模に占める割合で、早期健全化基準は25%以上、財政再生基準は35%以上。) 前年度から0.4ポイント低くなり8.8%となりました。

④将来負担比率

(第三セクターなども含め、自治体が将来的に負担すべき借金の残高が財政規模の何倍かを示すもので、早期健全化基準は350%以上。) 前年度から17.6ポイント高くなり、92%となりました。

令和2年度決算(概要)

予算審議8ページ参照

一般会計の歳出決算額

106億 4,518万円

総務費

歳出総額 31億 8,760万円 構成比 29.9%
(主な事業) 特別定額給付金事業
9億 4107万円

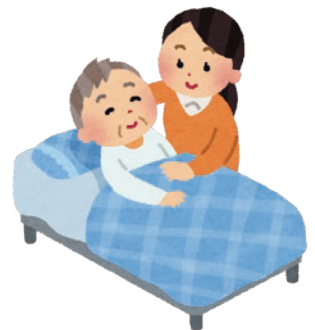
新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、世帯構成員1人につき10万円の特別定額給付金を給付しました。



民生費

歳出総額 14億 9,124万円 構成比 14%
(主な事業) 障害者介護給付事業
1億 9,641万円

「障害者総合支援法」に基づき、障害の程度が一定以上の人に必要な介護サービスにかかる費用を給付しました。



衛生費

歳出総額 13億 3,519万円 構成比 12.5%
(主な事業) 公立小浜病院組合負担金
1億 5,921万円

レイクヒルズ美方病院の運営費の一部を負担することにより、美浜町と若狭町の地域住民の医療体制を確保しました。



土木費

歳出総額 12億 8,779万円 構成比 12.1%
(主な事業) 美浜町スマートコンパクトシティ
魅力創造拠点化事業 6億 1,244万円

道の駅の整備を行うため、事業用地の取得、造成工事等の実施設計などを行いました。



常任委員会の動き

予算決算常任委員会に議案 18 件、総務文教常任委員会に議案 3 件と陳情 1 件、産業厚生常任委員会に議案 1 件が付託され、詳細な審議を行いました。



詳細な内容は議会ホームページをご覧ください▶

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>

予算決算常任委員会

【令和3年度 一般会計補正予算】

観光農園 JR 小浜線利用促進のチャンス

- Q クーポン券を配布しても、観光農園を利用する人が小浜線を利用するとは思えない。
- A 観光農園のオープン時期と重なることから小浜線の利用促進を図るチャンスと捉えている。

【令和2年度 歳入歳出決算】

財政調整基金 緊急事態に備える目的

- Q 新型コロナウイルス感染症対策や緊急経済対策を実施したが、財政調整基金を取り崩さずに実施することが出来たのか。
- A 当初、財政調整基金を取り崩す予定であったが、国から臨時交付金(約 2 億 3,000 万円)の交付を受けたことにより、取り崩さずに実施することができた。
財政調整基金は、緊急事態に備える目的で積立てをしている。この基金の活用については、しっかりとイメージを描き、議論していきたい。

総務文教常任委員会

美浜町体育センター 倉庫として管理

- Q 美浜町体育センターの設置及び管理に関する条例を廃止すると、管理責任の所在はどうか。
- A 教育委員会が所管し、倉庫として管理していく。

産業厚生常任委員会

農業人材育成拠点施設の指定管理者 みはまアグリチーム

- Q 代表取締役は、美浜町在住の方なのか。
- A 住所地は埼玉で、ファンファンクションの会社役員である。
- Q 当初の目的である「農業の担い手の育成及び確保」や地元とのつながりは出来るのか。
- A みはまアグリチームが地域に密着することで、美浜の農業に貢献してくれると思う。若者が就農していける環境をしっかりとつくりたい。

7月 臨時会 / 9月 定例会 議案

議会最終日には、新型コロナウイルスの感染拡大により、経済的に大きな影響を受けた事業者に対し、事業継続のためのきめ細やかな上乘せ支援を行う「令和3年度美浜町一般会計補正予算(第4号)」の議案1件、「地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について」の発委1件が追加提出されました。

7月 臨時会

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第53号	新美浜町レークセンター(仮称)建築工事請負契約について	—	可決	P10

9月 定例会

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第54号	令和3年度美浜町ケーブルテレビ施設更新工事(第4期)請負契約について	—	可決	
議案第55号	令和2年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	可決	P6・7・10
議案第56号	令和2年度美浜町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第57号	令和2年度美浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第58号	令和2年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第59号	令和2年度美浜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第60号	令和2年度美浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第61号	令和2年度美浜町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第62号	令和2年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第63号	令和2年度美浜町産業団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	P10
議案第64号	令和2年度美浜町住宅団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第65号	令和2年度美浜町道路用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	P10
議案第66号	令和2年度美浜町上水道事業会計決算の認定について		可決	
議案第67号	令和3年度美浜町一般会計補正予算(第3号)		可決	P4・5・8・10
議案第68号	令和3年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		可決	
議案第69号	令和3年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	
議案第70号	令和3年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)		可決	
議案第71号	令和3年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決		
議案第72号	令和3年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算(第1号)	可決		
議案第73号	美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決	
議案第74号	美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第75号	美浜町体育センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	可決	P8	
議案第76号	美浜町農業人材育成拠点施設の指定管理者の指定について	産業厚生	可決	P8・10
議案第77号	令和3年度美浜町一般会計補正予算(第4号)	—	可決	P10
陳情第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の採択について	総務文教	採択	
発委第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	—	可決	

※略称 <予算決算>・・・予算決算常任委員会 <総務文教>・・・総務文教常任委員会 <産業厚生>・・・産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載(○賛成 ×反対 -欠席 □退席)※議長(竹仲良廣)は採決に加わりません。反対または退席があった議案だけ載せています。

7月 臨時会

議案番号	仲島	高橋	寺田	梅津	河本	辻井	川畑	松下	嶋元	山口	藤本	兵庫	北村
議案第53号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○

9月 定例会

議案番号	仲島	高橋	寺田	梅津	河本	辻井	川畑	松下	嶋元	山口	藤本	兵庫	北村
議案第55号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

討論概要

7月 臨時会

◎議案第53号 新美浜町レークセンター
(仮称)建築工事請負契約について

〔反対討論〕

一貫して不要不急の無駄なハコモノであると指摘し、反対してきた。(河本議員)

9月 定例会

◎議案第55号 令和2年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について(議案第63・65号関連)

〔反対討論〕

「道の駅」の施設整備、三方五湖ゾーンの電池推進船の事業など、予算の執行を認めていない事業が多くある。(河本議員)

◎議案第67号 令和3年度美浜町一般会計補正予算(第3号)

〔反対討論〕

使い勝手の悪いクーポン券を配布したところで、JR小浜線の利用促進にはつながらない。(河本議員)

◎議案第76号 美浜町農業人材育成拠点施設の指定管理者の指定について

〔反対討論〕

ファンファンクションの事業拡大や利益のために、農業人材育成拠点施設の必要性に理解を示してきたわけではない。(河本議員)

◎議案第77号 令和3年度美浜町一般会計補正予算(第4号)

〔賛成討論〕

原案の通り認めるものの、私も拡充を求める意見に賛同している。行政には支援の拡充を実現してもらいたい。(河本議員)





たかはし おさむ
高橋 修 議員

美浜町のワクチン接種の現状は？

問 対策の切り札はワクチン接種だと思いが、美浜町の現状はどうか。

副町長 当初は電話が込み合うなど混乱もあったが、医療・大学等の関係機関、そして町民の理解と協力で、問題なく進んでおり感謝する。

健康福祉課長 年代別の2回目接種率は、12〜29歳が13%、30〜49歳が35%、50〜64歳が63%、65歳以上の希望者は7月末で完了した。

美浜町の接種率が70%に達する時期は？

問 デルタ株での感染者が減少に転じるには、2回目接種率70%が目標に

なる。美浜町において2回目接種率が人口の70%になるのは何時か。

健康福祉課長 2回目の接種率が70%に達するのは9月中旬頃と見込んでいる。

ワクチン接種率アップのための対策は？

問 接種の対象年齢が低下していると聞かすが、予約の現状と対策はどうか。

健康福祉課長 年代別の予約率は、12〜29歳が50%、30〜49歳が70%、50〜64歳が80%で、若年層ほど低い。保育園保護者へのチラシ配布、コンビニ・銀行等へのポスター貼付等に加え、未予約者への葉書による案内等を行っている。

新設施設の感染症対策は？

問 道の駅、レークセンター、観光船、イチゴ園等の新設施設の感染予防対策はどうしているのか。

いずれもガイドラインに基づき換気設備や自動洗浄手洗いはもとより、道の駅は開閉可能な開口部と吹き抜け構造、レークセンターは湖側を全て開閉可能な窓構造、遊覧船は換気設備の追加、観光農園は完全予約制を導入する。

観光戦略課長

興道寺廃寺跡の整備は？

問 4年前に国史跡に指定され、当時は2年かけて保存活用計画を作るとされていたが動きが見えない。風光明媚な場所であり、自然を活かした歴史の香りがする公園にできないかと思うが進んでいるのか。

町長 指定の翌年度に委員会を設置し、昨年度末に整備基本構想をまとめた。現在、用地の公有化に向けた準備をしている。賑わいゾーン、そして町民に親しまれる公園として出来るだけ早く整備したいが、着手までに数年はかかると考えている。

要望 道の駅等、大きな事業が進んでいるが、美浜の自然の魅力を活かしたとは言い難い。新幹線の

敦賀開業を目的に進めて欲しい。

彫刻の森の再整備は？

問 かつて美浜の芸術性を代表するスポットとして整備されたが、現在は木々が眺望を妨げ雑草も茂っている。久々子湖畔で立地もよく、「美浜の自然の魅力」を活かした公園兼運動コースとして再整備すべきと思うがどうか。

町長 展示されている彫刻作品を含めて、三方五湖ゾーン周遊の観光資源として活用したい。国定公園の第一種区域であり、伐採にも文化庁の許可が要り現在協議検討している。

道路の美化が必要では！

問 美浜は美しい浜と書くが、漂着物が多く必ずしもそう言えなくなつた。道路も路肩から草がはみ出し、ポイ捨ても結構見かける。観光地としても、魅力ある居住地としても、出来るだけ綺麗でいいと思う

が認識を伺う。

町長 個々の観光資源だけでなく、取り巻く環境を整えることも重要と考えている。先般、美しい浜プロジェクトを立ち上げた。観光道路では草刈りや花壇作りをお願いしており、そうした活動を展開していく。

要望 人口減少・高齢化が進み、善意のみでは維持できなくなる。美化活動も重要な施策・産業の一部と捉えて対処して欲しい。

コミュニティ交通にオンデマンドタクシーを導入すべきでは！

問 高齢化が進み、利用者のニーズは「必要な時にドアからドアへ(デマンド運行)」だと思ふ。また今後も続くコロナ対策の面でも、第三者の乗合い方式は推奨できない。

町長 今後も地域の足として運用していくため、高齢者の移動実態、道の駅や新幹線敦賀開業を睨んだ観光誘客等の視点でニーズを把握し、デマンドタクシーを含めて検討したい。



かわばた ただき
川畑 忠之 議員

エネルギー基本計画について！

第6次エネルギー基本計画(素案)について！

問 原子力政策の方向性が見通しにくくなった！

答 「素案」には、原子力の新增設・リプレースについては明記されていないが、町長の所見は、

町長 この「素案」は、原子力政策の方向性が見通しにくいものになったと受け止めている。

今や脱炭素、カーボンニュートラルは世界の潮流であり、我が国も2050年にそれを指すと宣言した以上、脱炭素社会の実現のために、今回の基本計画での新增設・リプレースを

含め、高いレベルの原子力技術、人材の維持・確保のための方向性を明確にすべきであると考えている。

美浜町としての意見要望について！

答 国、関係機関に強力に要請活動を計画しているが、コロナ感染状況のため延期になっている！

問

美浜3号機の再稼働同意による国の回答内容と、今回の素案内容に大きな違いがあるのなら、町長の意見要望による、国の説明責任は、果たしてもらいたい。町長の所見は。

町長

第6次エネルギー基本計画の策定に当たり町はこれまでから原子力

政策の明確化を国に対し強く要望している。特に美浜発電所3号機の再稼働に係る同意に際しては、判断要件の一つとして、国への要望事項に掲げてきたところである。

今回、町として、国、関係機関などに対して要請活動を計画してきたが、コロナ感染状況が厳しい局面にあるため、二度の延期を余儀なくされた。今後、状況を見極めながら、要請活動を実施したい。

国は一貫して責任あるエネルギー政策を実行するため、原子力を活用する方針に変わりはないとしており、成案に向けての動向についても、しっかりと注視をしていきたい。

美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」について！

きいばすと併用した施設「水族館」は考えられないか！

答 現在、町では、きいばす周辺施設等を含めて、この地域に人を集めるための検討を行っているところである。「水族館」は経済的課題があるが、一つの案として受け止めていきたい。

タブレット導入による学校教育について！

小中学校のタブレット導入について！

答 探求心や学習意欲、創造性などが今まで以上に醸成されつつある！

問

キーワードは、「引き出す教育と楽しむ教育」として、個性を伸ばし、探求心を深めていく狙いの、タブレット導入の成果は。

教育長

タブレットを活用することで、一人一人の子供に合った力をさらに引き出し、様々な活動の解決に取り組もうとする、探求心や学習意欲、創造性などが今まで以上に醸成される状況が見受けらる。

学校現場からも導入してよかったという声を聞いている。

町としては、引き続き、ICT教育の環境を充実させ、子供たちが自分の夢や希望に向かって自らの可能性を伸ばしていくことができれば、そんな人づくりを目指した学校教育を推進していきたい。

先生と生徒の「コミュニケーション」について！

答 ICT支援員を各学校に配置して、子供たちと言葉を交わしながら、「コミュニケーションを図る！

問

先生がタブレットを教えていく上で、得意な生徒と苦手な生徒の間でいじめが生じないか何う。

教育長

教職員のタブレット活用能力をしっかりと高めるための研修を始めている。先生たちが少しでも効果的にタブレットを活用できるように、町としてICT支援員を各学校に配置しており、特に意識して子供たちと言葉を交わしながら、コミュニケーションを図るように努めている。

また、苦手な子供には、学習支援員や生活支援員、そしてICT支援員が個別に一人一人の子供に細やかなサポートを行うことで、スキルの格差が生じないようにしているし、いじめが決して起こらないように、細心の配慮をしながら進めている。



つじ まさゆき
辻井 雅之 議員

町の自主防災組織の取組は
答「災害は必ずやって来る」の強い思いで、
 鋭意災害に備えている

問 毎年想定外の災害が多く発生しており、町でも、自助・共助の重要性を訴えている。緊急時には、地区の初動体制や自主的な行動で被害を最小限に食い止めることができる。地区の自主防災組織の取組が重要であり、この組織の取組をどう講じて行くのか。



町長 災害時には、公助にも限界があることから、自助・共助の、果たす役割は大きい。現在町内には自主防災組織は19区で設立され、自主的に訓練や洪水警戒表示、地区の戸別避難マップの作成を行っているところもあるが、機能していない組織もある。いざと言う時には、組織が機能的に動けるような体制確立が重要で、地域の防災士の協力、消防署、地区消防団とも連携を図り、防災全般の取組を強化したいと考える。

新しいハザードマップの活用方法は
答 地元の災害想定場所と災害の備えと行動を明確にするために。

問 今回、13年振りに土砂災害を含めた洪水・土砂災害ハザードマップを作成し、議会への説明があった。町内を東、中央、西の3つのエリアに分け、地図も大きく表示され見やすくなり評価できる。裏面にも災害時の備えや行動さらに家族間の決め事も記入できるよう、防災意識の高揚が見える。そこで、このマップをどの様に活用していくのか。

土木建築課長

千年に一度の降雨規模も想定しての津波・川の氾濫・土砂災害等の危険箇所を明確化し、避難場所も示した。また裏面には、災害・防災・日頃の家族や隣近所との災害について議論も出来るように企画した。今後マップにより、

町民の防災意識の高揚を図り、災害時における避難の明確化や自主防災組織の活動等に活かしていく。



音声告知端末機の音声に違和感がある
答 役場側の主装置で幾分調整できるが、根本的な改善はできない。

問

防災情報の伝達手段であるが、取替当時、発熱等の不具合が発生し、メーカーによる欠陥が発覚し、全機回収、修理、再設置が行われ、約半年遅れて

共用開始された。しかし、今回のスピーカーは肉声でなく、機械音声の為、声に違和感があり、聞き取りにくいとの苦情を聞くが改善できないか。

エネルギー政策課長

今回導入した端末機は、肉声から機械音声に変わった。入力者が誰であっても常に一定の水準で放送が可能になった。テキスト入力(キーボード入力)のため、入力に関しては作業の短縮や簡略化を図ることができている。機械音声の為、根本的には変更はできないが、放送の入力方法により対処できる分は改善していく。





問 「生理の貧困」問題で明らかに becoming するのは、生理用品を買えない女性や子どもたちが、トイレトーパーを生理用品の代用として使っているという現実である。このような状況をなくしていく取り組みが全国では進んでいる。



こうもと たけし 議員

「生理の貧困」問題、トイレに生理用品を設置すべきだ！
答 子どもたちの様子を確認したい。

る。国は予算化に動き、文科省も事務連絡を出している。美浜町でも学校施設から優先してトイレに生理用品を設置すべきだ！

教育委員会事務局 トイレへの設置に対する必要性については、社会的ニーズを踏まえ見極めていかなければならない。

教育長 この機会に、子どもたちの様子を確認したい。

意見 社会的に「貧困と格差」が広がる中、「生理の貧困」の根絶に向けて一過性ではない制度として、毎年予算化していくべき支援事業だ！

「米価下落」、町独自の支援策が必要！

答 園芸作物等を取り入れた複合経営の転換を進める。

問 コロナ禍の米の需要激減で在庫が増大し、

2021年産の米の価格暴

落が懸念されている。このままでは大多数の農家が赤字生産を強いられ、水稲が中心の美浜町の農業に大きなダメージを与えることになる。水稲農家を直接支援する町独自の支援事業が必要だ！

町長 町としては、直接の支援ではなく、農業基

本計画に基づき、足腰の強いもうかる農業の確立に力を入れていく。水稲単作の農業経営から収益性の高い園芸作物等を取り入れた複合経営の転換を進めるべく県と連携し、町独自の農業人材育成拠点施設を整備したほか、機械の購入や施設の整備に対する支援を充実、強化している。



意見 水稲農家が、米作りから野菜や果樹などの複合経営へ転換するのは容易なことではない。米作りをやめたら農業をやめると考えている方が多い中で、後継者不足や耕作放棄地の問題を考えれば、地域農業を守るために行政が直接水稲農家を支援するしか道はない。

水稲農家が、米作りから野菜や果樹などの複合経営へ転換するのは容易なことではない。米作りをやめたら農業をやめると考えている方が多い中で、後継者不足や耕作放棄地の問題を考えれば、地域農業を守るために行政が直接水稲農家を支援するしか道はない。

水上バイク（ジェットスキー）規制 早急に再検討すべきだ！
答 利用区域や制限行為等を定めた自主規制ルールを策定していく。

問 兵庫県明石市の市長が水上バイクの無謀な危険運転を殺人未遂容疑などで刑事告発する異例の対応を取ったことで、規制を求める声が高まっている。水上バイクの騒音やマナーについては、以前から苦情が寄せられていたが、法的な問題もあり、規制は進んでいない状況である。美浜町でも人の命にかかわる問題として、水上バイクの規制

町長 県の実態調査では、規制に該当する状況に至っていないという判断から、条例制定は困難な状況である。そのため県や町、地元関係団体、マリン事業者による対策協議会を立ち上げ、水上バイク等の利用区域や制限行為等を定めた自主規制ルールを策定していく。





うめづ たかひさ
梅津 隆久 議員

第五次美浜町総合振興計画での美しい自然環境の保全対策に係る進捗状況は！
答 水晶浜中心に年間を通じて海岸清掃活動を実施していきたい！

問 水晶浜の漂着物の96%は、プラスチックごみで、その約6割が日常生活用品とされている。また、2割が日本、中国・台湾が5割、朝鮮半島が3割と報告されている。この現実の中で夏の観光客を迎えるためボランティア等の参加のもと清掃活動で環境改善を推進しているが夏シーズンに限定するのではなく美しい浜を年間通して環境を守る主要推進策をお聞きしたい。

町長

町にふさわしい海浜をしつかり保全していくことは重要課題の一つと考えている。

6月には、美しい浜プロジェクトを立ち上げ町民運動として持続的かつ発展的な活動としていきたい。

住民環境課長

美しい浜プロジェクトでは海岸清掃活動だけではなく清掃を省力化するための海岸清掃機械の実証試験や導入、企業との連携の検討、資金の調達や、海洋ごみ問題広報等、幅広い取組みを実施していきたい。また、美浜町環境基本計画の対策としてプラスチックごみ対策に取組むこととしている。

問

敦賀市の小学校、坂井市内の小学校では自然環境保護への意欲を育むプラスチックごみ問題について勉強し、身近に感じながら自分達から始める大切さを学んだ記事があったが美浜の学校教育での取組みは。

教育長

総合教育会議において各小・中学校の校長

への情報提供とプラスチックごみについて理解を深めて頂くと共に身近な問題として生徒たちに感じて貰うために、総合的な学習の時間で教育している。また、中学校では海岸清掃活動への参加で海岸ごみの現状を知る機会を与えている。

問

海岸ごみや砂に混入したマイクロプラスチック回収重機ビーチクリーナーを産官学と共同研究開発導入の考えはなのか。

土木建築課長

取組みの一つとして人力では困難な流木や漁網、ブロックなどを除雪車のバケット部を改良しながら実証試験を進める。また、マイクロプラスチックの回収については協力企業を募集し検討を進めていきたい。



児童・生徒通学路の安心、安全確保について

答 安全最優先で継続してハード面の強化を要請する。

問

千葉県内の路上で下校中の小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込むという死傷事故の件に關して町内通学路において調査したと思うがハード面での不備、類似危険箇所の結果は。

教育長

地元関係者、PTA、学校、関係機関等による通学路安全推進会議を開催し合同で点検した結果4箇所類似箇所があったことから道路管理者に早期整備を要請した。

問

美浜東小学校児童の通学路は9月より自然災害リスクの少ない制圧道路を利用することになり安全対策会議をもとに危険箇所の調査とハード、ソフト面について対策を公安委員会に

要請し改善を図っているのが現状であるが「安全・安心」を維持するためにも横断歩道に対する信号機の設置を強く公安委員会等に要請できないのか。

教育委員会事務局長

注意喚起の標識設置等ハード面の改善に合わせて通学路での児童・生徒の安全を第一に考え継続して信号機の設置など安全対策全般にわたり要望していきたい。



美浜中学校 体育祭



町民の声

写真募集!

議会広報委員会では町民参加の議会だよりをめざして、「町民の声」や写真を募集しております。匿名での掲載はできません。

詳細は議会事務局 0770-32-6711 にお問い合わせください。



編集後記



「大変な時代になったものですね。」
コロナ禍に対応した新たな生活様式となり、この言葉が挨拶になることも増えました。従前からデジタル技術の進歩など変化の激しい時代と言われていますが、コロナが加速した感はありません。環境が変わることに順応するのは生物の定めと思いますが、大変さが頭をよぎります。
今一度、皆さんのコロナに対してはシンプルなマスク、手洗い、うがいは忘れずにしましょう。
(仲寫記)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 河本 猛
- 【副委員長】 川畑 忠之
- 【委員】 北村 晋・藤本 悟
松下 照幸・梅津 隆久
仲寫 正一

議会は、9月定例会の議事録から議会ホームページで公開します。また、議会だよりのカラー化も実現しました。議会の見える化、情報発信の強化により、町民に開かれた議会をめざしています。